

【教科書と副教材】

教科書：「伝え合う言葉 中学国語3」（教育出版）「中学書写」（教育出版）

副教材：「新しい文法ワーク」（明治図書）、「新国語便覧」（秀学社）、模擬トレ5（正進社）

「新・基礎の学習」（新学社）「漢字の完全マスター」（浜島書店）

1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使うとしている。

2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	小テスト、定期考査、提出物など
②思考・判断・表現	小テスト、定期考査、提出物など
③主体的に学習に取り組む態度	授業観察、振り返りシート、課題への取り組み内容など

学習のアドバイス

- 授業が基本です。自分の考えをもち、参加しましょう。短時間でも家庭学習で復習しましょう。
- 授業では目標を提示します。各時間の目標に向けて学習へ取り組みましょう。
- 話し合い活動は積極的に参加をしましょう。自分の考えを広げたり、深めたりすることができます。
- 常日頃からメモをとる習慣を身につけましょう。「聞く」力が伸びます。
- 手段や目的に沿って「書く」力を育みましょう。書くことは繰り返すことで、力が身につきます。
- 教科書を何度も「読み」ましょう。言葉に立ち止まって読むことで、書き手の伝えたいことが見えてきます。
日頃の読書も大切に、自らの考えの向上や語句の習得に励みましょう。
- ノートのメモ欄に、重要だと思うことや、他者・自己の意見を書くようにしましょう。
- 分からない「言葉」が出てきたら調べる習慣を身につけましょう。
- 書写では、正しく筆記用具や筆を持ち、正しい姿勢で臨みましょう。お手本の点画の配置や余白のバランスなどに注意して創作するようにしましょう。

3. 3年国語科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	一. 学びを生かす ・文法の学習(昨年度までの復習)	
	5月	二. 歴史をひらく	期末考査 (6/24~26) 終業式 (7/24)
	6月		
	7月	三. 論理を築く ・書写: 硬筆	
	8月		
8月	四. 関係を問う 五. 古典を伝える 六. 表現を吟味する ・書写: 毛筆	始業式 (8/25) 中間考査 (9/7, 8)	
9月			
10月			
11月			
12月			期末考査 (11/9 ~11) 終業式 (12/25)
3 学 期	1月	七. 情報を共有する	始業式(1/7)
	2月	八. 未来への言葉	期末考査 (2/22 ~2/25)
	3月		卒業式 (3/19)

【教科書と副教材】

<歴史的分野>

教科書：中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き（帝国書院）

副教材：つながる歴史（浜島書店）、よくわかる社会の学習 歴史2・3（明治図書）

<公民的分野>

教科書：中学社会 公民 とともに生きる（教育出版）

副教材：よくわかる社会の学習 公民（明治図書）、模擬トレ社会東京（正進社）

<全分野>

教科書：中学校社会科地図（帝国書院）

副教材：模擬トレ社会東京（正進社）

1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	○小テスト ○定期考査 ○課題 ○授業プリント など
②思考・判断・表現	○小テスト ○定期考査 ○レポート課題 ○授業プリント など
③主体的に学習に取り組む態度	○学習活動への取り組み方 ○ワークの記述 ○課題 ○ワークシート(単元学習カード、振り返りシートなど) の記述 など

学習のアドバイス

- 世の中のさまざまな現象に目を向け、それを当たり前のもので捉える前に、そのことはなぜ起こったのか、背景には何があるのかなど、深く考えてみましょう。
- 教科書や資料集を利用し、学習した事柄を復習しましょう。
- 学習した事柄のつながりを意識して、考えを深めましょう。
- 新聞やニュースに関心を持ち、世の中の動きを捉えましょう。
- 博物館や資料館、公共施設を訪問し、実物や本物に触れてみましょう。

3. 第3学年社会科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	【歴史的分野】 第4章 近代国家の歩みと国際社会 第5節 帝国主義と日本 p.187~202 第6節 アジアの強国の光と影 p.206~218	
	5月	第5章 二度の世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と民族独立の動き p.187~202 第2節 高まるデモクラシーの意識 p.219~234 第3節 戦争に向かう世論 p.235~251	
	6月	第4節 第二次世界大戦の惨禍 p.253~268 第6章 現在に続く日本と世界 第1節 敗戦から立ち直る日本 p.187~202	期末考査
	7月	第2節 世界の多極化と日本の成長 p.269~284 第3節 これからの日本と世界 p.269~284	終業式
2 学 期	8月	【公民的分野】 第1章 私たちの暮らしと現代社会 1節 私たちが生きる現代社会 p.14~20	始業式
	9月	2節 現代につながる伝統と文化 p.22~26 3節 私たちがつくるこれからの社会 p.28~36 第2章 個人を尊重する日本国憲法 1節 日本国憲法の成り立ちと国民主権 p.40~46	中間考査
	10月	2節 憲法が保障する基本的人権 p.48~72 3節 私たちと平和主義 p.74~80 第3章 私たちの暮らしと民主主義 1節 民主政治と日本の政治 p.84~96	
	11月	2節 三権分立のしくみと私たちの政治参加 p.98~114 3節 地方自治と住民の参加 p.116~126 第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と経済活動 p.130~136	期末考査
	12月	2節 企業の生産のしくみと労働 p.138~148 3節 市場のしくみとはたらき p.150~152 4節 金融のしくみと財政の役割 p.154~166 第5章 安心して豊かに暮らせる社会 1節 暮らしを支える社会保障 p.170~180 2節 これからの日本経済の課題 p.182~190	終業式
3 学 期	1月	第6章 国際社会に生きる私たち 1節 国際社会の平和を旨として p.194~208 2節 国際社会が抱える課題と私たち p.210~226 終章 私たちが未来の社会を築く 1節 持続可能な未来の社会へ p.230~236	始業式
	2月		期末考査
	3月		卒業式 修了式

【教科書と副教材】

教科書:未来へひろがる数学3 (啓林館)

副教材:よくわかる数学の学習3 (明治図書)

1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<p>・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。</p> <p>・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<p>数学を活用して事象を論理的に考察する力, 数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p>	<p>数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</p>

2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
① 知識・技能	単元テスト, 単元のまとめ, 小テスト, 定期考査 等
② 思考・判断・表現	単元テスト, 単元のまとめ, 小テスト, 定期考査 等
③主体的に学習に取り組む態度	学習の取り組み方, ノートへの記入, 振り返りシート, 復習小テスト等

学習のアドバイス

- 各章(各単元)の導入問題へ意欲的に取り組み、学びにつなげていこう。
- なぜそうなるのかをしっかりと考えるようにしよう。
- 話し合い活動の機会があれば積極的に参加しよう。
- 他人に教えられるように意識して学習することで、より深く学んでいこう。
- 繰り返し問題を解き、定着させよう。

3. 第3学年数学科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	1章 式の展開と因数分解 P.12~P.39	2年7章単元テスト (春休み明け小テスト)
	5月	2章 平方根 P.40~P.67	1章 単元テスト
	6月	3章 二次方程式 P.68~P.91	期末考査 (6/24~26)
	7月		2章 単元まとめ 終業式(7/25)
2 学 期	8月		始業式(8/25) 3章 単元まとめ
	9月	4章 関数 $y=ax^2$ P.92~P.121	 中間考査 (9/7,8)
	10月	5章 図形と相似 P.122~P.161	4章 単元まとめ
	11月	6章 円の性質 P.162~P.181	 期末考査 (11/9~11)
	12月	7章 三平方の定理 P.182~P.203	6章 単元テスト 7章 単元テスト 終業式(12/25)
3 学 期	1月	8章 標本調査とデータの活用 P.204~P.220	始業式(1/7)
	2月	入試対策	3年間のまとめのテスト 学年末考査 (2/22~25)
	3月		卒業式(3/19)

【教科書と副教材】

教科書:未来へひろがるサイエンス3(啓林館)

副教材:理科の完全学習3年(正進社)

模擬とれ5(正進社)

3年間の理科ぎゅぎゅっと総まとめ(明治図書)

1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだす。見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	・定期テスト・小テスト・実験プリント など
②思考・判断・表現	・定期テスト・小テスト・実験プリント・レポート など
③主体的に学習に取り組む態度	・授業プリント、課題への取り組み・レポート・振り返りシートなど

学習のアドバイス

- 授業に集中し、積極的に参加する。
- 「観察→仮説→実験→考察」の科学的な考え方を意識して、実験に積極的に参加する。
- 身近な自然や現象に興味をもち、探求する。
- 教科書や問題集を利用し、学習した事柄を繰り返し学習する。
- 学習した事柄に関連することを、自ら調べ理解を深める。
- 身近な自然や博物館などを利用し、実物や本物に触れる。
- 日常生活の結びつきを意識し、世の中の物事を科学的に見る。

3.3 年理科履修予定

月		履修予定(物理・化学・生物 週3時間、地学 週1時間)	その他
1 学 期	4月	【物理分野】 1章「力の合成と分解」教 p.172~185 2章「物体の運動」教 p.187~204	
	5月	3章「仕事とエネルギー」教 p.205~216	
	6月	4章「多様なエネルギーとその移り変わり」教 p.217~225	
	7月	5章「エネルギー資源とその利用」教 p.226~243	
	8月		
2 学 期	8月	【化学分野】 1章「水溶液とイオン」教 p.104~121	始業式
	9月	2章「電池とイオン」教 p.122~139	中間考査
	10月	3章「酸・アルカリと塩」教 p.140~169	
	11月	【生物分野】 1章「生物の増え方と成長」教 p.2~16 2章「遺伝の規則性と遺伝子」教 p.17	期末考査
	12月	~27 3章「生物の種類の多様性と進化」教 p.28~45	終業式
3 学 期	1月	【環境分野】 1章「自然界のつり合い」教 p.246~259	始業式
	2月	2章「さまざまな物質の利用と人間」教 p.260~268 3章「科学技術の発展」教 p.269~275	期末考査
	3月	4章「多様なエネルギーとその移り変わり」教 p.276~293 5章「持続可能な社会を目指して」教 p.294~305	卒業式 修了式

八王子市立松木中学校 教科履修予定

3年 音楽 年間授業時数 35時間

【教科書と副教材】

教科書(教育芸術社):中学生の音楽2,3年上下

中学生の器楽

副教材(正進社):音楽のハーモニー(ワーク)、コーラスフェスティバル(合唱曲集)

1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<p>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした表現をするために、必要な技能(歌唱法や器楽演奏法など)を身につけ、表現している。</p> <p>・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解し、楽器の音色やハーモニーを理解して聴く。</p>	<p>・取り組む作品について理解しその作品が生み出す雰囲気や特質を感受しながら知覚した事と感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するかについて思いや意図を持っている。また、鑑賞においては、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え作品の良さや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>・その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりして、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>・表現しようとするものがより良いものになるように自ら探求し、伝えようとする意欲を持って取り組む。</p>

2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	声楽、器楽の実技テスト、定期考査など
②思考・判断・表現	ワークシートへの記述、定期考査など
③主体的に学習に取り組む態度	振り返りシート、自己評価シートへの記述など

学習のアドバイス

- 勇気を出して表現してみる。
- 実技は粘り強く、繰り返し練習する。
- 提出物や課題には丁寧に、確実に取り組む。

3.3年音楽科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	歌唱:「花」	
	5月	鑑賞:「ブルタバ」	
	6月	合唱:大地讃頌 クラス合唱曲(クラスごと)	
	7月	器楽:リコーダー	
	8月		
2 学 期	8月		始業式
	9月	合唱:大地讃頌 クラス合唱曲(クラスごと)	
	10月	合唱:卒業式歌	
	11月	器楽:リコーダー	
	12月		
1月			
3 学 期	1月	鑑賞:能「敦盛」	始業式
	2月	合唱:大地讃頌 卒業式歌	期末考査
	3月		卒業式 修了式

【教科書と副教材】

教科書(日本文教出版株式会社):中学校美術2・3上と下

副教材(株式会社秀学社):美術資料 東京の美術

1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	○作品 ○振り返りカード ○定期考査 など
②思考・判断・表現	○作品 ○振り返りカード ○アイデア下描き用紙 ○定期考査 など
③主体的に学習に取り組む態度	○作品の制作状況 ○振り返りカードの記述内容 ○課題 など

学習のアドバイス

- 身近にある美しいもの・すてきなもの・好ましいものを普段から目にし、そのよさや美しさを感じ取る。
- 参考作品や作例を基に、自分なりの発想や構想を広げ、表現を工夫し追求する。
- 忘れ物をせず、道具や用具を大切に扱う。集中して制作に取り組める環境を大切にする。
- 自分の表現は自分にしかできない世界でただ一つの表現です。自分らしさを大切にする。
- 友達の作品を鑑賞し、よさや工夫点を見つけ学ぼうとする。
- 作品のよさや美しさを見つけ、文章にまとめたり発表したりできるようにしていきましょう。

3.3年 美術科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	○オリエンテーション	期末考査 終業式
	5月	○鉛筆デザイン ・構図の工夫／陰影、表情のつけ方 ○スクラッチボード ・ニードルの使い方	
	6月	・構図の工夫 ・ハッチングの技法	
	7月	○今を生きる私へ／自画像制作 ・鉛筆の使い方／構図の工夫／陰影、表情のつけ方	
2 学 期	8月	○鑑賞「仏像に宿る心」 ～シルクロード東西交流・飛鳥建築・仏像彫刻～ ○鑑賞「画家たちの自画像」 ○鑑賞「ルネサンスが目指したもの」 「レオナルド・ダ・ビンチの世界」 ○てんこく印(紐;持ち手作り) ・持ちやすい形や想いを込めた形を構想する。 ・持ち手を削る・形作り	始業式
	9月		中間考査
	10月		
	11月		
3 学 期	12月		終業式
	1月	○てんこく印(紐;持ち手作り) ・持ちやすい形や想いを込めた形を構想する。 ・持ち手を削る・形作り	始業式
	2月	・紙ヤスリで整える。 ・耐水ペーパーで磨く。 ・鑑賞・振り返り。	期末考査
	3月		卒業式

【教科書と副教材】

教科書:新しい保健体育【東京書籍】

副教材:図解体育【廣済堂あかつき】

中学保健学習ノート【正進社】

1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。

2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	定期考査、授業観察、学習カード、技能テストなど
②思考・判断・表現	定期考査、ワークシート、学習カード、単元末のレポートなど
③主体的に学習に取り組む態度	学習内容への取り組み方、ペア学習観察、ワークシートへの記述内容、学習カードの内容など

学習のアドバイス

- 教科書や図解体育を利用しながら、学習した運動のルールや行い方を復習する。
- 基本的な運動を継続することを目指し、体力の保持増進に取り組む。
- 練習方法や作戦など仲間と協力しながら伝えあうなどのコミュニケーションを大切に取る。
- 健康・安全に留意しながら課題解決に向けて主体的に取り組む。
- 運動の得意・不得意に関係なく、様々な運動や健康に関する課題に対して、解決する方法を自から調べたり挑戦しようとしたりするなど、粘り強く取り組む姿勢を大切しながら授業に参加する。

令和8年度 第3学年保健体育科履修予定

八王子市立松木中学校

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	体づくり運動、集団行動、ラジオ体操 陸上競技〔短距離走・リレー〕	期末考査 (6/24~26) 終業式(7/24)
	5月	陸上競技〔短距離走・リレー〕 新体カテスト	
	6月	水泳〔クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ〕	
	7月	球技〔ネット型:バレーボール〕 【保健分野】 健康な生活と疾病の予防P91~P106	
2 学 期	8月	器械運動〔マット運動〕	始業式(8/25)
	9月	陸上競技〔短距離走・ハードル走〕 【保健分野】 健康と環境P127~P138	中間考査(9/7~8)
	10月	【体育理論】 文化としてのスポーツの意義 P169~P172	期末考査 (11/9~11) 終業式(12/25)
	11月	球技〔ゴール型:バスケットボール〕	
	12月	球技〔ゴール型:サッカー〕	
3 学 期	1月	陸上競技〔長距離走〕 【体育理論】 文化としてのスポーツの意義 P174~P175	始業式(1/7)
	2月	球技 体づくり運動	期末考査 (2/22~25) 卒業式(3/19)
	3月		修了式(3/25)

【教科書と副教材】

教科書:新しい技術家庭科・技術分野(東京書籍)

1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	生活や社会で利用されている技術について、理解し、活用することができる。 生活に関わる技能を身に付け生活や社会、環境との関わりについて理解をしている。	技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	授業の課題や、生活の中の問題に対して、主体的に問題解決に取り組もうとしている。

2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	定期考査 レポート プリント 作品製作
②思考・判断・表現	定期考査 レポート プリント 作品製作
③主体的に学習に取り組む態度	レポート 作品製作 プリント 授業の取組 など

学習のアドバイス

- 作品製作が授業の中心になります。製作の手順、工程をしっかりと確認しておきましょう。
- 実習に関わる技能は該当部分の教科書、ノート、プリント等を確認するようにしましょう。
- 提出物の期限を守りましょう。

3. 第3学年技術・家庭科(技術分野)履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	技術ガイダンス	始業式 期末考査 終業式
	5月	第4編 情報の技術 P198~215 情報の技術の原理・法則と仕組みを知ろう。 安全に利用するための情報モラルを知ろう。 【実習】デジタル作品の製作 プログラムによる計測制御 計測・制御の仕組みを知ろう。 制御プログラムを作ろう。	
	6月		
	7月		
	8月		
2 学 期	8月	第4編 情報の技術 P216~223 情報の技術の工夫を読み取ろう プログラミングを体験しよう 双方向性のあるコンテンツとは何だろう 【実習】デジタル作品の製作 プログラムによる計測制御 計測・制御の仕組みを知ろう。 制御プログラムを作ろう。	始業式 中間考査 期末考査 終業式
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
3 学 期	1月	第4編 情報 P224~259 計測・制御プログラムを作ろう。 情報に関する技術を未来に生かそう。 【実習】双方向性コンテンツの作成 社会の発展と情報の技術について知ろう。 情報技術の未来	始業式 期末考査 卒業式 修了式
	2月		
	3月		

【教科書】

教科書:新しい技術家庭科・家庭分野(東京書籍)

【副教材】

家庭科ワークノート 家庭分野(明治図書)

1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	・生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住などについての基礎的な理解とそれに係る技能について理解し、活用することができる。	・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けようとしている。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の表現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 ・授業の課題や、生活の中の問題に対して、主体的に問題解決に取り組もうとしている。

2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	実技テスト、定期考査など
②思考・判断・表現	定期考査、ワークシートへの記述、レポート、
③主体的に学習に取り組む態度	学習の取り組み方、ワークシートへの記述、振り返りシート、授業にのぞむ姿勢

学習のアドバイス

○授業を大切に受けることが、何よりも大切です。(忘れ物をしないように心がけて、授業中には発言し、積極的に参加しましょう。
ていねいにノートを作成して、テスト前の復習に役立てましょう。)○家庭でのお手伝いは、積極的に取り組みましょう。(食器洗いや、食事の準備、包丁の使い方、ボタン付け等もやってみましょう。
家庭でのお手伝いをしながら、実技の作業に親しんでおくことが大切です。)○提出物の期限を守りましょう。

(ワークやプリントや実技作品等の完成期限を守りましょう。)

月		履修予定	その他		
1 学 期	4月	6 編2章 幼児の生活と家族 ①幼いころの振り返り ②幼児の身体の発達 ③幼児の心の発達 ④幼児の一日の生活 ⑤支えられて身に付ける生活習慣 ⑥幼児の生活と遊び	始業式 入学式 期末考査		
	5月				
	6月				
	7月			生活の課題と実践(巾着製作)	終業式
	8月				
2 学 期	8月		6 編2章 幼児の生活と家族 ⑦幼児の関わり方の工夫 ⑧幼児の関り方を生活に活かす ⑨子供にとっての家族	始業式 中間考査 期末考査 終業式	
	9月				
	10月				
	11月				
	12月				
3 学 期	1月	6編3章持続可能な家庭・地域生活	始業式 期末考査 卒業式		
	2月				
	3月				

【教科書】 NEW CROWN3 (三省堂)

【副教材】・JOYFUL WORK BOOK 3 (新学社)・3年間の英語ぎゅぎゅっと総まとめ (明治図書)・模擬トレ (正進社)

1. 評価の観点 (L) 聞くこと (R) 読むこと (T) 話すこと[やりとり] (S) 話すこと[発表] (W) 書くこと

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<p>知識</p> <p>①【言語材料】の【特徴やきまりに関する事項】を理解している。</p> <p>②【言語材料】を【用いた文の構造】を理解している。</p> <p>③【言語材料】の【意味や働き】を理解している。</p> <p>技能</p> <p>(L)【話された文等】の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p> <p>(R)【書かれた文等】の内容を読み取る技能を身に付けている。</p> <p>(T)【内容(事実や自分の考え、気持ちなど)】を即興で伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>(S)【内容(事実や自分の考え、気持ちなど)】を即興で話す技能を身に付けている。</p> <p>(W)【内容(事実や自分の考え、気持ちなど)】を正確に書く技能を身に付けている。</p>	<p>(L)【話された文等】を聞いて、【必要な情報】を捉えている。</p> <p>(R)【書かれた文等】を読んで、【必要な情報】を捉えている。</p> <p>(T) 簡単な語句や文を用いて、【内容(事実や自分の考え、気持ちなど)】を即興で伝え合っている。</p> <p>(S) 簡単な語句や文を用いて、【内容(事実や自分の考え、気持ちなど)】を即興で話している。</p> <p>(W) 簡単な語句や文を用いて、【内容(事実や自分の考え、気持ちなど)】を正確に書いている。</p>	<p>(L)【話された文等】を聞いて、【必要な情報】を捉えようとしている。</p> <p>(R)【書かれた文等】を読んで、【必要な情報】を捉えようとしている。</p> <p>(T) 簡単な語句や文を用いて、【内容(事実や自分の考え、気持ちなど)】を即興で伝え合おうとしている。</p> <p>(S) 簡単な語句や文を用いて、【内容(事実や自分の考え、気持ちなど)】を即興で話そうとしている。</p> <p>(W) 簡単な語句や文を用いて、【内容(事実や自分の考え、気持ちなど)】を正確に書こうとしている。</p>

2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
① 知識・技能	定期考査、単元テスト、単語テスト、パフォーマンステスト、休み明けテスト、リスニングテスト など
② 思考・判断・表現	定期考査、単元テスト、パフォーマンステスト、リスニングテスト、ワークシートなど
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取組、ノートやワーク、音読・暗唱、パフォーマンステスト、ワークシート、ふり返し など

学習のアドバイス

- 「話す・聞く・書く・読む」を意識して、毎日英語に触れる。
- ワークシートや副教材などの問題を解き、間違った問題は分かるまで取り組む。
- 本やインターネット、テレビなどを通し、外国の文化や言語について関心をもつ。
- クロムブックを活用し、リスニングや音読練習、スピーキング練習をくり返し行う。
- 家庭学習(ノート・ワーク・ワークシート等)に継続して取り組む。
- コミュニケーションをとるときは、積極性を大切にする。

3. 第3学年英語科履修予定 ●題材 ◎文法事項

月	履修予定	その他
1 学 期	4月	<p>●ようこそ写真部へ ◎現在完了形(経験用法、完了用法、継続用法)復習 ●Language Focus 1 ◎現在完了形の復習 ●Take Action! Listen 1 ●電車の運行情報 ●Take Action! Talk 1 ●電話でのお誘い ●Lesson 2 The Power of Music ●音楽のある日 ◎We have been discussing ...◎My friends helped me carry ... ◎It is ... (for A) to ~. ●Language Focus 2 ◎現在完了進行形、help+A+動詞の原形 It is ... (for A) to ~. ●Take Action! Listen 2 ●遊園地の園内放送 ●Take Action! Talk 2 ●話し合い ●Lesson 3 Cranes for Peace ●折り鶴と平和への願い ◎Thousands of paper cranes are sent... ◎The statue was built by... ●Language Focus 3 ◎受け身 ●Project 1 旅行プランの提案 ●Reading Lesson 1 What Makes Music?</p>
	5月	
	6月	
	7月	
2 学 期	8月	<p>●Lesson 4 Bollywood Movies ●インドの映画を見よう ◎this person standing ◎a comedy movie directed by... ◎be glad to... ●Language Focus 4 ◎後置修飾、be glad to... ●Take Action! Listen 3 ●バスのアナウンス ●Take Action! Talk 3 ●解決策の提案 ●ESAT-J に向けての取り組み ●Lesson 5 Translating Culture ●世界に広がるマンガやアニメ ◎cards that [which] have... ◎a soccer player who[that] can do... ◎I want you to... ●Language Focus 5 ◎いろいろな文(文構造) ●Take Action! Listen 4 ●ラジオニュース ●Take Action! Talk 4 ●話し合い ●Lesson 6 Being Fair ●平等ってなに? ◎the cute ladle that[which] I found... ◎paper cups we will use... ●Language Focus 6 ◎関係代名詞、名詞を修飾する文、want + A + to... ●Project 2 ラジオの30秒 CM ●Reading Lesson 2 I Have a Dream ●Lesson 7 Design for Change ●デザインの力 ◎If I had..., I would~. ◎I wish I had... / I wish I could... ◎If I were, ... ●Language Focus 7 ◎仮定法</p>
	9月	
	10月	
	11月	
3 学 期	12月	<p>●Project 2 ラジオの30秒 CM ●Reading Lesson 2 I Have a Dream ●Lesson 7 Design for Change ●デザインの力 ◎If I had..., I would~. ◎I wish I had... / I wish I could... ◎If I were, ... ●Language Focus 7 ◎仮定法</p>
	1月	<p>●Take Action! Listen 5 ●国立公園の注意事項 ●Take Action! Read 1 ●スキーツアー ●Lesson 8 For Our Future ●新たな旅立ち ◎I do not remember why you were... ◎I will show you where I am... ●Language Focus 8 ◎間接疑問(why など) ●Take Action! Read 2 ●市民ホールのイベント ●Project 3 10年後の自分へのメッセージ ●Reading Lesson 3 Learning from Nature</p>
	2月	
3月		